



向山小学校

1975年4月1日創立 児童327名

校歌

作詞 稲葉晃三
作曲 月岡弘一

一 咲いたこぶしの 白い花から
まぶしい春が こぼれてる
心の花は 豊かにかおり
掲げて学ぶ 元気にわれら
ああ 向山 緑もえでる小学校

二 若葉ささやく 丘はさわやか
遙かな空に 富士を見る
流れる雲に 理想をのせて
鍛えて強く 伸びゆくわれら
ああ 向山 緑かがやく小学校

三 木立吹きあげ とよむ潮風
遠くに海が 光ってる
心はひとつ 手をとりあって
希望の明日へ 羽ばたくわれら
ああ 向山 緑あふれる小学校



秋津小学校

1980年4月1日創立 児童221名

校歌

作詞 小林純一
作曲 中田喜直

一 あかるい朝の 大空と
木々のみどりを うつつ窓
そうです ここは 名も秋津
やがては あの空 とびかける
強い力の 育つところ
習志野秋津 みんなの秋津

二 波立つ海を 埋め立てて
できた この町 この校舎
そうです ここに また きょうも
かがやく光を 浴びながら
声を合わせて 歌うところ
習志野秋津 みんなの秋津

三 秋津と空の 校章が
光りきらめく 旗の下
足音高く ほこらしく
理想を目ざして ただ進む
誓い新たに 結ぶところ
習志野秋津 みんなの秋津



香澄小学校

1981年4月1日創立 児童221名

校歌

作詞 斎藤信夫
作曲 平岡昭章

一 潮風寄せる グランドで
跳べ跳べ 走れ 思いのままに
みんな みんな 楽しく たくましく
はずむ体を 鍛えよう
学び舎高く 果て遠く
水平線に富士の影
希望に燃えて いざ立とう
ラララ 香澄 香澄 母校と共に

二 自律を誇る 窓のなか
押せ押せ 習え 力の限り
みんな みんな 明るく いさぎよく
耐える心を 育てよう
たゆまず励む 人の世の
延長線に悔いはない
理想を求め いざ行こう
ラララ 香澄 香澄 母校よ常に





谷津南小学校

1986年4月1日創立 児童 928名

校歌

作詞 稲葉晃三
作曲 月岡弘一

一 あげ潮に飛び立つ水鳥の
声もあかるい谷津干潟
渡り鳥をも友として
希望の空へ羽ばたけば
のびるのびる すくすく伸びる

二 バラ園の面影のこし
風にやさしく匂うバラ
花の心を受けとめて
仲良くみんな肩くめば
みえるみえる 輝く未来

三 潮風にささやく緑
富士をはるかな空に見る
四季の野鳥を窓に呼び
ふくらむ夢をはぐくめば
ひかるひかる 緑がひかる



第一中学校

1947年4月30日創立 生徒 749名

校歌

作詞 大木惇夫
作曲 堀内敬三

一 袖が浦 波も静かに
平和の虹はかかるなり
樂しや 我が学舎
智慧のともしび
いよよ明るく 清らけく
富士の如くに自ら立ちて
道をつくさむ つらぬかむ

二 菊田川 水に影する
正義の星を汲うなり
うれしや わが友どち
徳のしら珠
いよよさやく 美しく
海のひろけき心を持ちて
人をゆるさむ 愛しまむ

三 津田沼の丘のみどりに
文化の花は匂うなり
親しやわがふるさと
夢のゆりかご
いよよゆたけく 睦まじく
空に祈りて 望みをかけて
ちから協せむ いそしまむ



第二中学校

1949年8月31日創立 生徒 591名

校歌

作詞 勝 承夫
作曲 平井康三郎

一 燃えたつよ 若い力
かがやくよ 明るい希望
平和の広野 習志野に
みどりと薫り 花と咲く
自主の精神 二中のわれら

二 澄みわたる 空に映えて
富士が嶺も はるかに呼ぶよ
友情こもる まなびやは
円かに高く あたたかく
明日の理想の わきたつ泉

三 この庭に 風は清く
この窓に ひろがる海よ
夢大らかに たゆみなく
真理を求め 進むもの
たぎる純情 二中のわれら





第三中学校

1967年7月16日創立 生徒344名

校歌

作詞 佐藤守孝
作曲 芳賀宗隆

一 朝日に映えて 富士はるか
高き理想の 学び舎に
真理の光 求めゆく
はげむわれらの 姿あり
ああ 三生 どこまでも

二 袖しが浦に 風そよぐ
若き力の 校庭に
不屈の体を きたえゆく
きそうわれらの 姿あり
ああ 三生 ためみなく

三 大空あおく すみわたり
広き心の わが友が
友情の輪を ひろげゆく
睦むわれらの 姿あり
ああ 三生 とこしえに



第四中学校

1969年4月1日創立 生徒823名

校歌

作詞 尾形弘道
作曲 根本陽

一 未来を築く 習志野に
白亜の殿堂 そびえたつ
心をふるわせ 松籟に
自主と理想を 求めつつ
おお築こう 我等の四中

二 花も開いた 窓あけて
仰げ希望の 大空を
秀でて清い 富士が嶺に
真理と知性を 研きつつ
おお築こう 我等の四中

三 友情こもる 学庭に
緑の芝生 陽に映えて
樺の大樹に 願い込め
力と意志を 鍛えつつ
おお築こう 我等の四中



第五中学校

1978年4月1日創立 生徒726名

校歌

作詞 吉野弘
作曲 高橋正夫

一 大らかに
今日の光が 溢れてる
空に 海に 野に 窓に
わたしたちの心に
繰り返せない今日のうちにち
広く学ぼう 鍛え合おう
わたしたち
習志野五中の友

二 爽やかに
明日の香りが招いてる
知恵を 力を 試みを
わたしたちの若さを
喜び 分かち 明日の図らい
深く学ぼう 語り合おう
わたしたち
習志野五中の友





第六中学校

1978年4月1日創立 生徒 534名

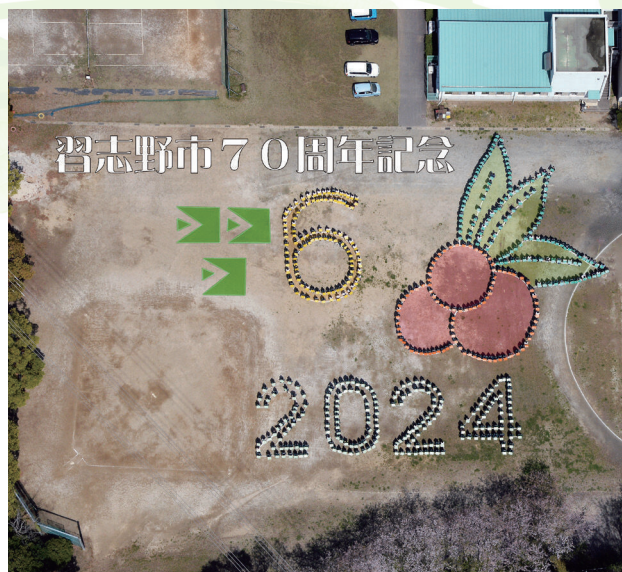
校歌

一 若草萌えて 風歌う
習志野原に 陽が昇り
学びの窓は 輝やけり
自主の扉を 押し開き
共に歌わん 喜びを
六中 六中 われらが希望

二 山ももの樹に 風薫り
肩を並べて 友と入る
学びの門に 光あり
連帯の輪を 結ばずば
月の桂を 如何にせん
共に進まん 腕組みて
六中 六中 われらが力

三 天津の森に 風そよぎ
夕映えの色 あかあかと
学びの庭を 染むころ
創造の道を 拓き行く
努力の汗の 尊さを
共に讃えん 栄えあれ
六中 六中 われらが誇

作曲 沢田繁二
作詞 高橋正夫



第七中学校

1980年4月1日創立 生徒 316名

日に新た（校歌）

一 風光る 新興の大地 香澄野は
わが郷土 かがやく歴史刻みつつ
日に日に新た 日に新た
宇宙をかける鳳の志 はぐくむ処

二 花香る 若人の英知 溢れ満つ
わが学舎 携まぬ力願いつつ
日に日に新た 日に新た
世紀を拓く研学の讃歌 あかるく響く

三 夢語る 俊秀の集い 瞳澄む
わが学友 ゆたかな情深めつつ
日に日に新た 日に新た
未来を誓う友愛の団結 かためる三年
栄あれ 習志野第七中学校

作詞 伊橋虎雄
作曲 田久保裕一



習志野高等学校

1957年4月1日創立 生徒 945名

校歌

一 君知るやここ津田沼の
花薫る丘に 今日も鬱勃と
湧きやまず 青き雲波 遅しく 四海を望む
これぞ 叡智と愛の学舎 我等が母校 習志野
おお 響え立て 誇りもて 美しく
永久に 永久に 永久に 碧空に

二 君知るやここ津田沼の
海光る丘に 今日も鈴々と
鳴りやまず 優しき調べ 穏かに 四海をつつむ
これぞ 叡智と愛の学舎 我等が母校 習志野
おお 響え立て 誇りもて 美しく
永久に 永久に 永久に 碧空に

三 君知るやここ津田沼の
風徒る丘に 今日も肅々と
燃えやまず 真理の光 明々と 四海を照らす
これぞ 叡智と愛の学舎 我等が母校 習志野
おお 響え立て 誇りもて 美しく
永久に 永久に 永久に 碧空に

作詞 山田維雄
作曲 森脇憲三



習志野市文教住宅都市憲章（前文）

昭和四十五年三月三十日議決
改正 昭和六十年三月二十八日議決

わたくしたち習志野市民は、わたくしたちおよび次の世代をになう子どもたちのために、静かな自然をまもり育てていかなければなりません。

それは、教育および文化の向上をささえるまちづくりの基盤となるものであり、健康で快適な生活を営むために欠くことのできない基本的な条件だからです。

しかし、人間はすぐれた文明をつくりだすいつばう、自然を破壊し、わたくしたちの生命、身体をむしばみ、教育および文化の正常な発展を阻害していることも事実です。

そこで、わたくしたち習志野市民は、ひとりびとりの理解と協力のもとに、創意工夫し、たゆまぬ努力をつづけながら、理想とするまちづくりのために次のことを宣言し、この憲章を定めます。

一 わたくしたち習志野市民は、青い空と、つややかな緑をまもり、はつらつとした若さを失わないまちをつくりまします。

一 わたくしたち習志野市民は、暖かい生活環境をととのえ、住みよいまちをつくりまします。

一 わたくしたち習志野市民は、教育に力をそそぎ、すぐれた文化をはぐくむ調和のとれたまちをつくりまします。

習志野市歌

長橋 正宣 作詞
富澤 裕 作曲

一 朝の陽溢れて さわやかに

水辺の鳥たち 歌だより

自然の息吹が みちみちて

大地にみどりの みどりの風が吹く

好きですふるさと 習志野は

夢と希望を 紡ぐまち

二 歴史は床しく とこしえに

育む文化と 幸ゆたか

新たな芽生えを もりあげて

頑張る元気が 元気が胸に湧く

好きですふるさと 習志野は

行手明るく 拓くまち



習志野市歌

市制施行 70 周年記念誌 航空写真集

発行日 令和 6（2024）年 10 月 26 日

編集 習志野市

発行所 ユニオン・エンタープライズ株式会社

許可なく転載・複製することを禁止します。



習志野市

2024年9月24日 津田沼ザ・タワーから撮影